

ランチタイムシンポジウム 1

Lunchtime Symposium 1

大会第1日：3月28日(火)・March 28 (Tue) 12:00 - 13:00

J会場・Hall J

男女共同参画推進委員会企画シンポジウム 研究者として輝くために…ライフイベントと共に生きる！

Committee symposium on equal opportunity for women physiologists

オーガナイザー・Organizer：

齋藤 康彦(奈良県立医科大学医学部 第一生理学)

Yasuhiko Saito (Dept Neurophysiol, Nara Med Univ)

西谷(中村) 友重(国立循環器病研究センター 分子生理学部)

Tomoe Y. Nakamura-Nishitani (Dept Mol Physiol, Natl Cereb Cardiovasc Cent)

1LS1-1 継続は力なり～守るものと譲るものは？

横山 詩子

横浜市立大学医学部 循環制御医学

1LS1-2 私の歩いてきた道、これからの道

荒田 晶子

兵庫医科大学 生理学 生体機能部門

ねらいと概要

研究者にとって、これから研究を飛躍させていく時期に、結婚・出産、子育て、また中高年期には親の介護などの様々なライフイベントが、研究者のキャリアアップにとって重要な時期とぶつかってしまったときに、研究者はどのような選択をしていくことができるだろうか？ライフイベントと研究を両立するため、研究の継続を諦めたり、単身赴任をしたり、遠距離通勤をしたり、子供を持つ時期の選択を迷うこともあるだろう。男女共同参画推進委員会では、このような問題に対し、先人たちがどのような工夫をされたのか、また現在どのような制度があって問題解決できるかを男女両方の立場から模索している。本シンポジウムでは、大学で教鞭をとられているお二人の先生にライフイベントとどのように向き合ってきたかお話しいただき、同じ問題を抱えている多くの研究者と情報の共有や意見の交換を行うきっかけが得られることを期待する。

※本シンポジウムは全て日本語で開催されます。

This symposium will be held in Japanese.

ランチタイムシンポジウム2

Lunchtime Symposium 2

大会第2日：3月29日(水)・March 29 (Wed) 12:00 - 13:30

A会場・Hall A

学術研究委員会企画フォーラム 科研費審査システム改革2018の目指すところ

Science and research committee forum:
the aim of peer-review system reform 2018 of Grants-in-Aid for Scientific Research

オーガナイザー・Organizer：

赤羽 悟美(東邦大学医学部 生理学講座 統合生理学分野)

Satomi Adachi-Akahane (Department of Physiology, Faculty of Medicine, Toho University)

本間 さと(北海道大学大学院医学研究科 時間医学講座)

Sato Honma (Department of Chronomedicine, Hokkaido University Graduate School of Medicine)

2LS2-1 日本の学術研究におけるボトムアップ研究の必要性和問題点

勝木 元也

学術システム研究センター・副センター長

2LS2-2 科研費審査システム改革2018の狙いと要点について

鍋倉 淳一

前・学術システム研究センター 主任研究員・生理学研究所

ねらいと概要

科研費の目的は、研究者の自由な発想による独創的・先駆的な研究をサポートすることであり、ピアレビューによる審査システムを通じて、研究者同士が切磋琢磨し、優れた研究課題を発掘することが求められている。しかしながら、現在の科研費システムは、出口志向化、申請課題のマンネリ化、領域の閉鎖性などの問題を抱えている。科研費システムをより良きものとするためには、研究者が主体的に問題点と解決策について考え議論することが重要である。

生理学会は、日本で最も歴史のある研究者コミュニティの一つであり、また、臓器や分子の壁を超えた融合研究を行う研究者も多いことから、科研費システムを活かして質の高い研究を推進するとともに、科研費システムの改善に向けて議論し意見を表明することが期待されている。

本フォーラムの目的は、『科研費審査システム2018のめざすところ』について生理学会会員の理解を促し、ボトムアップ研究の必要性和問題点を共有し建設的な議論を行うことにより、イノベティブな研究を推進することである。

※本シンポジウムは全て日本語で開催されます。

This symposium will be held in Japanese.

浜松ホトニクス株式会社 製品説明会

Hamamatsu Photonics K.K. Product Briefing

大会第3日：3月30日(木)・March 30 (Thu) 12:10 - 12:40
B会場・Hall B

浜松ホトニクスの最新イメージング製品

※本講演は軽食の用意があります(数に限りあり)。当日朝よりコンgresセンター1Fロビーにて整理券を配布します。聴講の際に軽食が必要ない方は整理券は不要です。

Light meals will be provided for attendees of this lecture. Numbered tickets for meals will be handed out at the entrance lobby in the morning. The tickets are not necessary for attendees who do not need the meals.

※本製品説明会は全て日本語で開催されます。
This briefing session will be held in Japanese.